

平成28年6月21日(火)
(公財)石川県埋蔵文化財センター
担当：調査部国関係調査グループ
伊藤雅文
特定事業調査グループ
川畑 誠
電話：076-229-4477
内線：6540

北陸新幹線建設工事に伴う発掘調査現地説明会の案内について

石川県教育委員会が独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構から依頼を受け、公益財団法人石川県埋蔵文化財センターに委託している北陸新幹線関連埋蔵文化財調査については、能美市、小松市、加賀市で発掘作業を進めております。

北陸新幹線建設に伴う発掘調査について現場を順次公開することとし、別紙のとおり発掘調査現地説明会を実施します。

にしとうだ なかのしょう
●西任田遺跡、中ノ庄遺跡

1 所在地等

(1) 調査地 能美市西任田町地内

(2) 調査主体 石川県教育委員会

調査担当：公益財団法人石川県埋蔵文化財センター

(3) 調査期間 平成28年4月～同年10月（予定）

(4) 調査面積 11,340㎡（予定）

2 現地説明会

(1) 日時 平成28年6月26日（日）

午前10時および午後2時から2回行います。小雨実施

(2) 場所 能美市西任田遺跡、中ノ庄遺跡発掘調査現場（別添図参照）

(3) 対象 県民・考古学に関心のある方、事前申し込み不要

(4) 内容 発掘調査の概要説明と出土品の公開

(5) 調査成果 西任田遺跡、中ノ庄遺跡は手取川左岸に位置する古墳時代から古代の集落跡です。中ノ庄遺跡は昭和58年度に調査されて以来33年ぶりの発掘調査となります。南北900m余りの長い発掘範囲ですが、南から順次調査をおこなっています。

主な遺構としては、古代末～中世初頭頃の掘立柱建物（総柱式）6棟以上、井戸数基、溝数条があります。遺跡の時期が中世初頭まで続いていることや、その集落の広がりもわかりました。なお、遺跡の旧表土が洪水砂におおわれて遺存する箇所が認められ、手取川の度重なる氾濫をうかがうことができます。

(6) 主催 石川県教育委員会・公益財団法人石川県埋蔵文化財センター

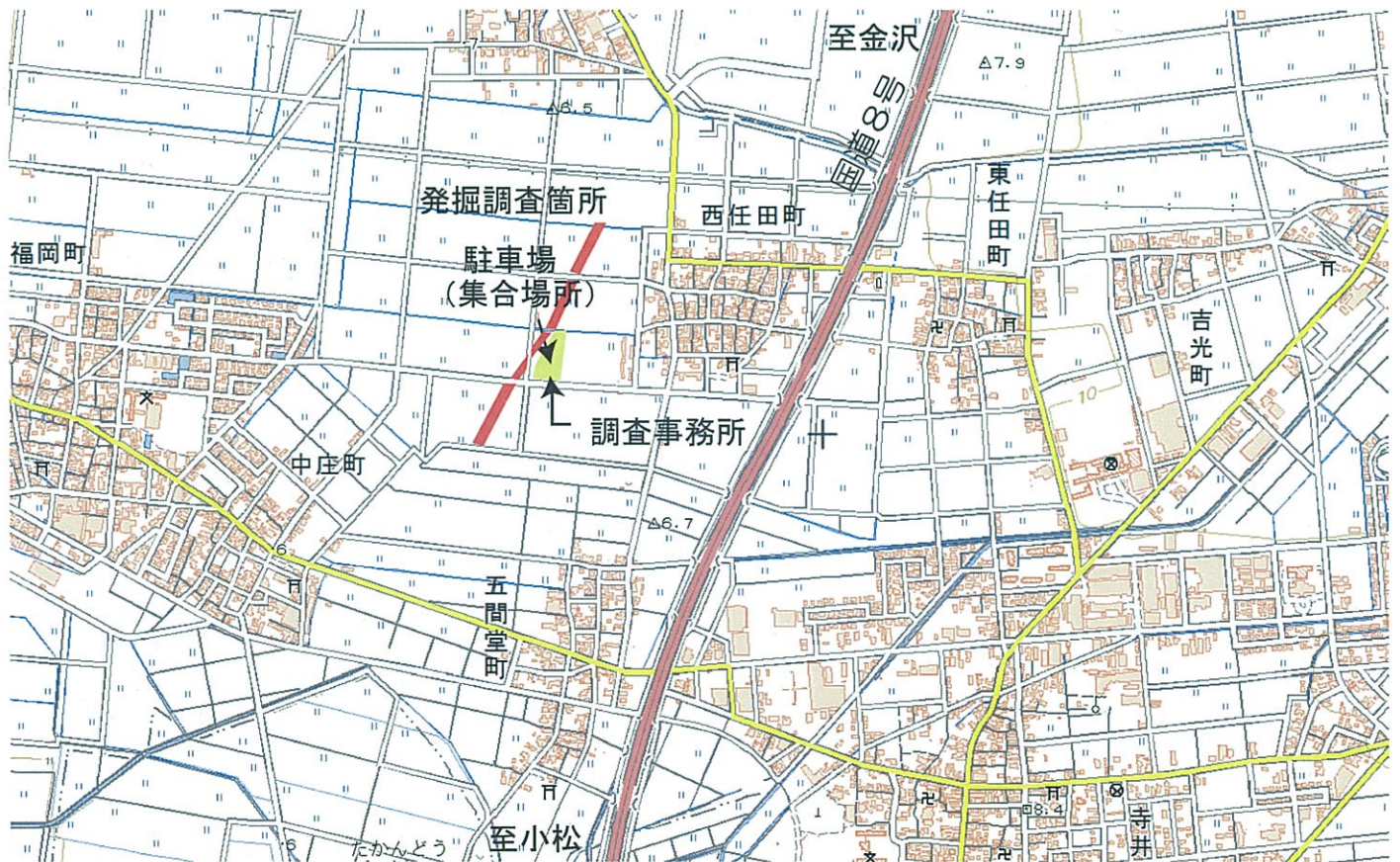
(7) 問合せ先 ○（公財）石川県埋蔵文化財センター 調査部 国関係調査グループ

電話 076-229-4477（内線6540）

○石川県教育委員会事務局文化財課 埋蔵文化財グループ

電話 076-225-1842（内線5629）

西任田遺跡、中ノ庄遺跡の位置





調査区南部（北から）



調査区近景（南から）

1 所在地等

- (1) 調査地 小松市土居原町、日の出町地内
- (2) 調査主体 石川県教育委員会
調査担当：公益財団法人石川県埋蔵文化財センター
- (3) 調査期間 平成28年4月～同年12月（予定）
- (4) 調査面積 6,790㎡（予定）

2 現地説明会

- (1) 日時 平成28年7月10日（日）
午前10時および午後2時から2回行います。小雨実施
- (2) 場所 八日市地方遺跡発掘調査現場（別添図参照）
- (3) 対象 県民・考古学に関心のある方、事前申し込み不要
- (4) 内容 発掘調査の概要説明と出土品の公開
- (5) 調査成果 八日市地方遺跡は、JR小松駅東側一帯（約15万㎡）にひろがる北陸地域を代表する弥生時代中期の大規模環濠集落です。

過去には、石川県や小松市教育委員会などが主体となり、数多くの発掘調査

を行っており、平地建物、掘立柱建物などで構成される居住域、方形周溝墓を主体とする墓域、それらの施設群を取り囲むように掘削された多重の濠（環濠）などが確認されています。

北陸新幹線建設に係る発掘調査は、昨年度（平成27年度）から開始しており、今年度とあわせて、八日市地方遺跡を南北方向に縦断する調査となる予定です。

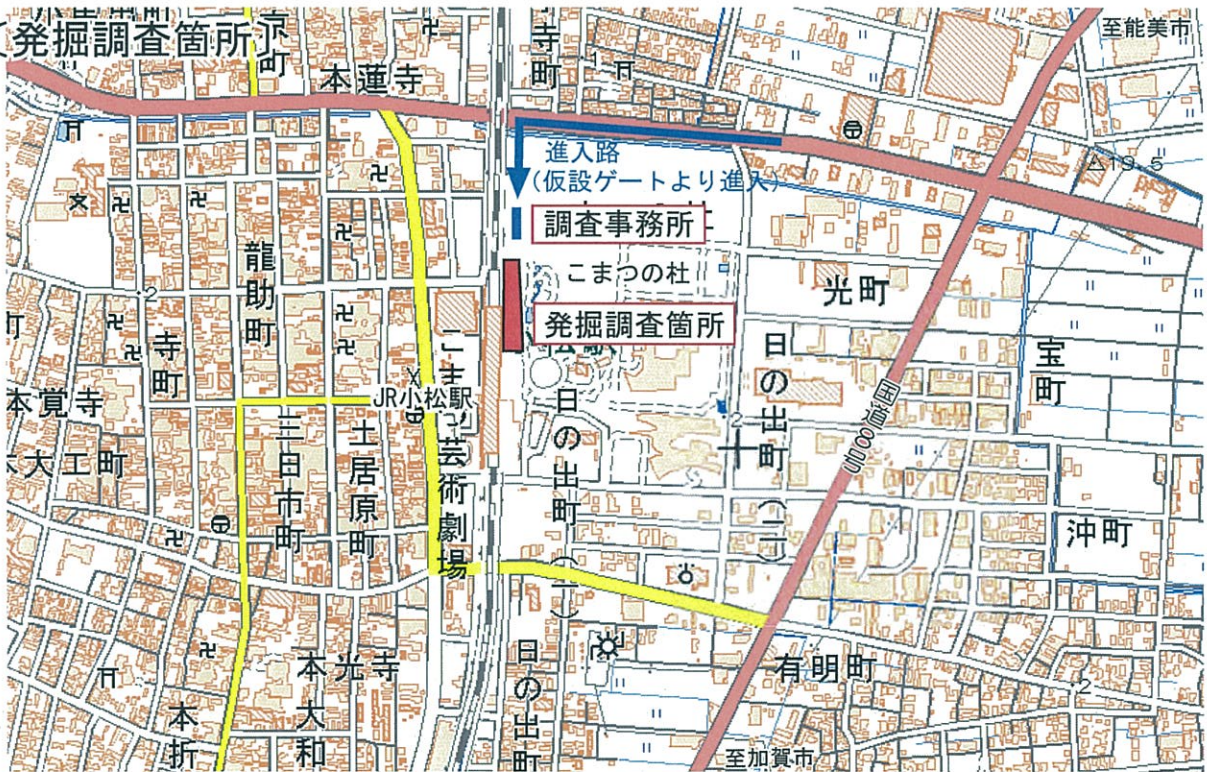
現在は、弥生時代の方形周溝墓約10基などが見つかри、環濠外側の集落外縁部に墓域が展開することを確認できました。

- (6) 主催 石川県教育委員会・公益財団法人石川県埋蔵文化財センター
- (7) 問合せ先 ○（公財）石川県埋蔵文化財センター 調査部 特定事業調査グループ
電話 076-229-4477（内線6540）
○石川県教育委員会事務局文化財課 埋蔵文化財グループ
電話 076-225-1842（内線5629）

〔八日市地方遺跡の位置〕



〔発掘調査箇所〕





調査風景（南から）



隣接して築かれた方形周溝墓（南西から）